

3-3 協働推進基本方針に基づく主な取組成果

基本構想の実現に向けて、総合計画で定めた「協働推進基本方針」に基づき、「協働推進計画」の取組を着実に進めました。

方針1 多様な主体との連携による協働の推進

方針2 区と地域団体等による課題解決に向けた協働の取組

◆令和6年度の主な取組

取組項目名	取組内容
方針1 多様な主体との連携による協働の推進	
公民連携プラットフォームの運用	<p>地域協創型ポータルサイト「すぎなみプラス」において、地域が主導となり地域課題の解決に取り組むプロジェクトを6件掲載するなど、多様な主体が連携できるための場づくりを行いました。</p> <p>また、区から発信する事業内容に対し、日時や場所を問わず様々な立場の方が意見やアイデアを発信できる場として、意見募集型ポータルサイト「すぎなみボイス」を開設しました。すぎなみボイスでは、区から5つのテーマを掲示し、各テーマの事業概要や進捗状況を掲載するとともに、この内3つのテーマについては意見募集を実施するなど、「新たな協働」を促進する取組を進めました。</p>
包括連携協定による地域活動等の推進	<p>これまで包括連携協定の締結事業者と取り組んできた熱中症対策や高齢者の見守り支援等に加え、「健康づくり」・「認知症」等の分野における具体的な連携に向けた協議を行いました。また、公民連携プラットフォームを活用した地域を含めた連携についても協議を行うなど、公民連携を促進する取組を進めました。</p>
地域活動団体への支援	<p>「まちの絆向上事業」助成については19団体(令和5年度比6団体増)に助成を行い、そのうち8団体は地域連携支援型事業に対する助成となりました。</p> <p>「町会・自治会ICT活用支援」については6回の講習を行い、新たに着手した「町会・自治会もう一步すすみ隊」事業については7件の相談を受け付けました。</p> <p>また、すぎなみ協働プラザでは、各種相談業務を行ったほか、ファシリテーションや助成金に関する講座等を実施しました。</p> <p>さらに、NPO支援基金を活用したNPO活動資金を5団体に交付し、その活動を支援しました。</p>
協働提案制度の実施	<p>令和4年度に協働事業として採択された「プロに学ぶ『吹奏楽ワークショップ』事業」では、プロの指導を直接受けられることや他校生徒との交流ができることから生徒・保護者から高い評価を得られました。また、令和5年度に採択された「住民(移動制約者)参加によるユニバーサルデザインのまちづくり事業」では、移動制約者と区立施設職員間での対話により、施設内の照明の明るさが改善されるなどの成果が得られました。</p>
すぎなみ地域大学等による地域人材の育成	<p>既存の23講座に加え、図書館音訳等ボランティア講座、水鳥調査・解説員講座等の地域ニーズに応じた新規講座2講座を所管課と連携して企画・運営するなど、合計25講座を実施しました。</p>

取組項目名	取組内容
新たな協働による課題解決に向けた職員の意識啓発	幅広い職層の区職員を対象に、区職員が協働の意義を十分に理解し、地域とのコミュニケーションを深めていくことの意識を啓発するため、専門的な知識や経験を有する外部人材を活用し、研修を実施しました。
協働の推進を目的とした外部人材の活用	地域づくりに関する豊富な経験とノウハウを有し、区の地域特性を深く理解している事業者を活用し、公民連携プラットフォームをより実効性のあるものへと機能強化を図ることで、協働の取組が円滑に進むよう取り組みました。
方針2 区と地域団体等による課題解決に向けた協働の取組	
地域防災力の向上	すぎなみ地域大学において「地域防災コーディネーター養成講座」を開催し、地域の防災・減災を担う新たな人材の育成に取り組み、講座の受講生のうち希望者に対して震災救援所の連絡会や訓練に参加できるよう調整を行いました。また、65か所の震災救援所のうち62か所で、発災時の消火活動や救援活動等を想定した訓練を実施するなど、区民の防災の意識高揚と地域防災力の向上を図りました。
区民参加のまちづくりの推進	<p>まちづくり助成金の交付や活動報告会の開催、コンサルタント派遣を実施し、地域主体のまちづくり活動の幅を広げることに寄与しました。</p> <p>阿佐ヶ谷駅等周辺では、令和6年度に計5回「あさがやまちづくりセッション」を開催し、地域の課題や将来像等について、区と区民が共有しました。</p> <p>荻窪駅周辺では、これまでの商店会とのワークショップやアンケートの結果から、商店会ごとに状況は様々であり、交通課題の解決に向けては個々の商店会との連携が必要であることが明らかになりました。</p> <p>下井草駅周辺地区では、「（仮称）下井草まちづくりラボ」を令和5年度に開催したワークショップから規模を拡大したうえで、全6回実施しました。学識経験者による講習会や先行事例の視察など連続立体交差事業や駅周辺のまちづくりを学び、意見交換を行いました。オープンハウスでは、小学生や子育て世代、高齢者など、様々な世代の方から意見を聴くとともに、「（仮称）下井草まちづくりラボ」の参加者による説明を行い、来場者及びラボ参加者間で意見交換を行いました。</p> <p>都市計画道路事業に着手している西荻窪・高円寺地域と、中杉通りの延伸計画がある南阿佐ヶ谷地域において、参加者や地域の方が主体となり、区とともに将来のまちづくりを考え協働していく場として「（仮称）デザイン会議」を地域別に発足させ、まちの課題や解決策のアイデアなどについて議論しました。</p>
杉並産農産物の地産地消の推進	<p>農業者やＪＡ東京中央と連携した即売会（計53回）の開催・支援により地産地消の理解・推進を図りました。</p> <p>また、全区立学校において「地元野菜デー」を年2回実施するとともに、杉並産農産物の学校給食への提供を一層推進するため、モデル校を選定し学校給食で利用する野菜の調整・配送等を行いました。</p> <p>さらに、区内農産物の直売所や区の農業施策などを掲載した「農産物直販マップ」のほか、環境負荷低減事業活動の一環として東京都エコ農産物の認証取得農業者を掲載した直販マップを刊行し、情報発信を行いました。</p>
空家等利活用相談窓口の開設	空家に関する相談窓口の充実と空家の利活用の促進に向け、令和6年4月に民間事業者と協働して空家等利活用相談窓口を開設しました。相談窓口では、空家の地域貢献活用や相続、税金、売却など様々な相談の解決に向けて取組を進め、延べ87件の相談を受けました。また、出張相談会を6回、セミナーを2回開催し、空家等対策の意識啓発や相談窓口の周知等を実施しました。

取組項目名	取組内容
創エネルギー及び省エネルギーの普及・推進	<p>区民の意識向上を図るため、専門性を持ったNPOやエネルギー事業者等と協働して、太陽光発電に関する講演会や情報交換会、パネル展を実施するとともに、断熱に関する講演会や省エネ相談会等を開催しました。なお、新たに実施した断熱ワークショップでは、家庭で簡単にできる断熱の取組について紹介しました。</p> <p>また、長期にわたり連携を行ってきたNPO団体の解散に伴い、新たに普及啓発に取り組む団体との連携について協議を行いました。</p>
エコチャレンジ事業	<p>区民や区内事業者の省エネルギー行動を促進し、温室効果ガス排出量の削減につなげるため、家庭や事業所における電気及びガスの省エネ促進事業である「すぎなみエコチャレンジ」を実施しました。287件の結果報告のうち、186件が前年同期間と比較して5%以上の使用量削減を達成しました。</p>
食品ロスの削減	<p>「食べのこし0（ゼロ）応援店」の登録店舗数は、令和6年度は新規が97店舗、閉店が109店舗、合計930店舗となりました。</p> <p>また、「m o t t E C O普及推進モデル事業」を、令和6年度は127店舗で実施しました。m o t t E C O容器の平均使用数から、協力店舗全体での食品ロス削減量を算出したところ、令和5年度比で約3.3倍となる約330kg（推計）の削減につながっていることが確認できました。</p>
区民の参加による健康づくり	<p>地域における歯と口腔の健康づくりをより一層進めるため、区民や関係団体と協働して、「よい歯健口フェスティバル」を開催し、延べ922人が参加しました。</p> <p>また、主体的に区民の健康づくりに寄与する活動を行うなど、杉並区における健康づくりの重要な担い手となっている健康づくりリーダーを養成する講座をすぎなみ地域大学で実施しました。受講者のうち、12名が新たに登録され、健康づくりリーダーは計55名となりました。</p>
食育の推進	<p>すぎなみ地域大学で「食育推進ボランティア養成講座」を実施し、10名が新たに登録され、計170名となりました。区・J A・ボランティアで制作した「野菜のレシピ集」を、ボランティアが青果店や農家に直接配布するとともに、ボランティア同士の意見交換の場を設け、連帯感とボランティアへの参加意欲の向上を図りました。</p> <p>また、区内の中学2年生が考案した朝食メニューを表彰する「朝ベジごはんメニューコンテスト」には571作品が集まり、朝食や野菜摂取の重要性をその家族等にも広めることができました。</p> <p>さらに、高齢者の健康や生活を地域で支える事業所に向けた、フレイル・低栄養予防に関する食支援のための講習会を実施しました。</p>
健康づくり応援店事業の実施	<p>区民の健康的な食生活を支援する環境整備を推進するため、区内飲食店54店に、健康に配慮したヘルシーメニューを提供したほか、健康的な食生活に関するポスターを掲示する健康づくり応援店への登録勧奨を行い、そのうち24店が応援店として新規登録しました。登録に至らなかった飲食店に対しても、健康的な食事の重要性を伝えることで、飲食店店主の健康づくりに関する意識の向上を図りました。</p> <p>また、野菜摂取や食事バランスの重要性などをテーマにしたポスターを制作し、健康づくり応援店での掲示を通じて、区民に向けた健康的な食生活の普及を図りました。</p>

取組項目名	取組内容
民間運動施設との協定による生活習慣病予防の推進	「区民の健康づくり活動に関する協定」を締結している民間運動施設事業者の運動プログラムについて、広報すぎなみなどを通じて周知を図り、身近な運動施設で専門的かつ質の高いプログラムを計33回提供しました。また、民間運動施設事業者と協働して、生活習慣病の予防を目的とした運動教室を計7回開催しました。
区立学校と区内都立学校との連携協働による教育活動の推進	「杉並区教育委員会と区内都立学校との連携協働に関する包括協定」に基づき、連携協働事業推進連絡会を開催し、「環境教育」をテーマに異校種間連携の観点から実践発表を行うとともに、連携協働を推進していくための協議・情報交換を行いました。また、区立中学校の進路指導主任会に都立学校の管理職に参加してもらったほか、年間を通して、自然体験学習などにおいて、区立学校と区内都立学校の交流を行いました。
文化・芸術の創造性を活かしたまちの魅力づくり	<p>「すぎなみ戦略的アートプロジェクト」に関する協定に基づき、NPOと協力して、地域の文化・芸術を育む環境の整備・充実に取り組みしました。</p> <p>仮想美術館「スギナミ・ウェブ・ミュージアム」の運営、発信においては、恒常的に区の文化・芸術を紹介する常設展に区ゆかりの画家である入江一子氏を加え、展示の充実を図るとともに、展示作品を専門家の解説付きで鑑賞するオンラインツアーを2回開催したことで、閲覧者は約98,000人となりました。</p> <p>和文化の発信においては、子どもを中心に和文化を体験できるワークショップの実施やアート作品の展示・販売に加え、書道家によるパフォーマンスなど気軽に文化・芸術を体感できるマルシェを開催しました。</p> <p>地域の中での作品場所の発掘と創出においては、区内のアートスポットや作品展示場所の情報を「スギナミ・ウェブ・ミュージアム」に集約し、「常設展トウキョウ・スギナミ・アートチズ」や「各種アート情報」として発信しました。</p>